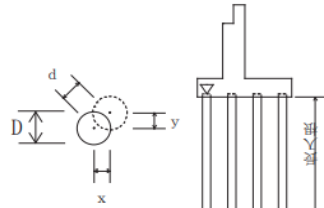
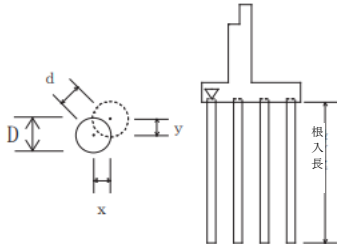


施工管理基準及び規格値 新旧対比表

現 行

単位mm				単位mm	
工 種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘要
深礎工	基準高▽	±50	全数について杭中心で測定。	$d = \sqrt{x^2 + y^2}$	
	根入長	設計値以上			
	偏心量 d	150以内			
	傾斜	1／50以内			
	基礎径D	設計径（公称径）以上※			

単位mm				単位mm		
工 種	測定項目	規格値		測定基準	測定箇所	摘 要
		個々の測定値 (X)	10個の測定値の平均 (X ₁₀)			
アスファルト舗装工 (下層路盤工)	基 準 高 ▽	±40	—	基準高は延長40m毎に1箇所の割とし、道路中心線及び端部で測定。厚さは、各車線20m毎に測定。幅は、延長40m毎に1箇所の割に測定。	基準高については、舗装版打換え時は補充材の施工完了面、全層打換え時の下層路盤が無い舗装構造の場合は路床面にて測定する。	
	厚 さ	－45	－15			
	幅	－50	—			

改 定' (変更箇所は赤字下線付き及び赤色着色部)							頁番号
単位mm							21
工種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘要		
深礎工	基準高▽	±50	全数について杭中心で測定。 <u>※ライナープレートの場合はその内径、補強リングを必要とする場合は補強リングの内径とし、モルタルライニングの場合はモルタル等の土留め構造の内径にて測定。</u>	$d = \sqrt{x^2 + y^2}$			
	根入長	設計値以上					
	偏心量 d	150以内					
	傾斜	1／50以内					
	<u>基礎径D</u>	<u>設計径（公称径）以上※</u>					
単位mm							24
工種	測定項目	規格値		測定基準	測定箇所	摘要	
		個々の測定値 (X)	10個の測定値の平均 (X10)				
アスファルト舗装工 (下層路盤工)	基準高 ▽	±40	-	基準高は延長40m毎に1箇所の割とし、道路中心線及び端部で測定。厚さは、各車線20m毎に測定。幅は、延長40m毎に1箇所の割に測定。	基準高については、舗装版打換え時は補充材の施工完了面、全層打換え時の <u>下層路盤までの施工の場合は施工層下面にて測定する。</u>		
	厚さ	-45	-15				
	幅	-50	-				

施工管理基準及び規格値 新旧対比表

現 行

単位mm				単位mm		
工 種	測定項目	規格値		測定基準	測定箇所	摘 要
		個々の測定値(X)	10個の測定値の平均(X ₁₀)			
アスファルト舗装工 (上層路盤工)	基 準 高 ▽	±40	－	幅は、延長40m毎に1箇所の割とし、厚さは、各車線20m毎に測定。基準高は延長40m毎に1箇所の割とし、道路中心線及び端部で測定（ただし、舗装版打換え時及び全層打換え時の下層路盤が無い舗装構造の場合に適用する）。	基準高については、舗装版打換え時は補充材の施工完了面、全層打換え時の下層路盤が無い舗装構造の場合は路床面にて測定する。	
	厚 さ	－25	－8			
	幅	－50	－			

単位mm				単位mm		
工 種	測定項目	規格値		測定基準	測定箇所	摘 要
		個々の測定値(X)	10個の測定値の平均(X ₁₀)			
コンクリート舗装工 (下層路盤工)	基 準 高 ▽	±40	－		厚さは、個々の測定値が10個に9個以上の割合で規格値を満足しなければならないとともに、10個の測定値の平均値(X ₁₀)について満足しなければならない。ただし、厚さのデータ数が10個未満の場合は測定値の平均値は適用しない。 コア採取について 橋面舗装等でコア採取により床版等に損傷を与える恐れのある場合は、他の方法によることが出来る。 基準高については、舗装版打換え時は補充材の施工完了面、全層打換え時の下層路盤が無い舗装構造の場合は路床面にて測定する。	
	厚 さ	－45	－15			
	幅	－50	－			

改 定' (変更箇所は赤字下線付き及び赤色着色部)

頁番号

単位mm					
工種	測定項目	規格値		測定基準	測定箇所
		個々の測定値 (X)	10個の測定値の平均 (X10)		
アスファルト舗装工 (上層路盤工)	基準高 ▽	±40	-	幅は、延長40m毎に1箇所の割とし、厚さは、各車線20m毎に測定。基準高は延長40m毎に1箇所の割とし、道路中心線及び端部で測定（ただし、舗装版打換え時及び全層打換え時の <u>上層路盤までの舗装構造</u> の場合に適用する）。	基準高については、舗装版打換え時は補充材の施工完了面、全層打換え時の <u>上層路盤までの施工の場合は施工層下面にて測定する。</u>
	厚さ	-25	-8		
	幅	-50	-		

24

単位mm					
工種	測定項目	規格値		測定基準	測定箇所
		個々の測定値 (X)	10個の測定値の平均 (X10)		
コンクリート舗装工 (下層路盤工)	基準高 ▽	±40	-	基準高は、延長40m毎に1箇所の割とし、道路中心線及び端部で測定。厚さは、各車線20m毎に測定。幅は、延長40m毎に1箇所の割に測定。	厚さは、個々の測定値が10個に9個以上の割合で規格値を満足しなければならないとともに、10個の測定値の平均値 (X10) について満足しなければならない。ただし、厚さのデータ数が10個未満の場合は測定値の平均値は適用しない。 基準高については、舗装版打換え時は補充材の施工完了面、全層打換え時の <u>下層路盤までの施工の場合は施工層下面にて測定する。</u>
	厚さ	-45	-15		
	幅	-50	-		

25

施工管理基準及び規格値
 新旧対比表

現 行

単位mm				単位mm		
工 種	測定項目	規格値		測定基準	測定箇所	摘 要
		個々の測定値 (X)	10個の測定値の平均 (X ₁₀)			
コンクリート舗装工 (上層路盤工)	基 準 高 ▽	±40	—	幅は、延長40m毎に1箇所の割とし、厚さは、各車線20m毎に測定。基準高は延長40m毎に1箇所の割とし、道路中心線及び端部で測定（ただし、舗装版打換え時及び全層打換え時の下層路盤が無い舗装構造の場合に適用する）。	厚さは、個々の測定値が10個に9個以上の割合で規格値を満足しなければならないとともに、10個の測定値の平均値 (X ₁₀) について満足しなければならない。ただし、厚さのデータ数が10個未満の場合は測定値の平均値は適用しない。 コア採取について 橋面舗装等でコア採取により床版等に損傷を与える恐れのある場合は、他の方法によることが出来る。 基準高については、舗装版打換え時は補充材の施工完了面、全層打換え時の下層路盤が無い舗装構造の場合は路床面にて測定する。	
	厚 さ	−25	−8			
	幅	−50	—			

単位mm				単位mm		
工 種	測定項目	規格値		測定基準	測定箇所	摘 要
		個々の測定値 (X)	個々の測定値 (X)			
コンクリート舗装工 (転圧コンクリート版工) 下層路盤工	基準高 ▽	±40	—	基準高は、延長40m毎に1箇所の割とし、道路中心線及び端部で測定。厚さは、各車線20m毎に測定。幅は、延長40m毎に1箇所の割に測定。	厚さは、個々の測定値が10個に9個以上の割合で規格値を満足しなければならないとともに、10個の測定値の平均値 (X ₁₀) について満足しなければならない。ただし、厚さのデータ数が10個未満の場合は測定値の平均値は適用しない。 基準高については、舗装版打換え時は補充材の施工完了面、全層打換え時の上層路盤までの施工の場合は施工層下面にて測定する。	
	厚 さ	−45	−15			
	幅	−50	—			

単位:mm					
工種	測定項目	規格値		測定基準	測定箇所
		個々の測定値 (X)	10個の測定値の平均 (X10)		
コンクリート舗装工 (上層路盤工)	基準高 ▽	±40	-	幅は、延長40m毎に1箇所割とし、厚さは、各車線20m毎に測定。基準高は延長40m毎に1箇所割とし、道路中心線及び端部で測定（ただし、舗装版打換え時及び全層打換え時の上層路盤までの舗装構造の場合に適用する）。	厚さは、個々の測定値が10個に9個以上の割合で規格値を満足しなければならないとともに、10個の測定値の平均値 (X10) について満足しなければならない。ただし、厚さのデータ数が10個未満の場合は測定値の平均値は適用しない。 基準高については、舗装版打換え時は補充材の施工完了面、全層打換え時の上層路盤までの施工の場合は施工層下面にて測定する。
	厚さ	-25	-8		
	幅	-50	-		

単位:mm					
工種	測定項目	規格値		測定基準	測定箇所
		個々の測定値 (X)	10個の測定値の平均 (X10)		
コンクリート舗装工 (転圧コンクリート版工) 下層路盤工	基準高 ▽	±40	-	基準高は、延長40m毎に1箇所割とし、道路中心線及び端部で測定。厚さは、各車線20m毎に測定。幅は、延長40m毎に1箇所割に測定。	厚さは、個々の測定値が10個に9個以上の割合で規格値を満足しなければならないとともに、10個の測定値の平均値 (X10) について満足しなければならない。ただし、厚さのデータ数が10個未満の場合は測定値の平均値は適用しない。 基準高については、舗装版打換え時は補充材の施工完了面、全層打換え時の下層路盤までの施工の場合は施工層下面にて測定する。
	厚さ	-45	-15		
	幅	-50	-		

施工管理基準及び規格値 新旧対比表

現 行

単位mm

工 種	測定項目	規格値		測定基準	測定箇所	摘 要
		個々の測定値(X)	10個の測定値の平均(X_{10})			
コンクリート舗装工 (転圧コンクリート版工) 上層路盤工	基準高 ▽	±40	—	幅は、延長40m毎に1箇所の割とし、厚さは、各車線20m毎に測定。基準高は延長40m毎に1箇所の割とし、道路中心線及び端部で測定(ただし、舗装版打換え時及び全層打換え時の下層路盤が無い舗装構造の場合に適用する)。	厚さは、個々の測定値が10個に9個以上の割合で規格値を満足しなければならないとともに、10個の測定値の平均値(X_{10})について満足しなければならない。ただし、厚さのデータ数が10個未満の場合は測定値の平均値は適用しない。 基準高については、舗装版打換え時は補充材の施工完了面、全層打換え時の下層路盤が無い舗装構造の場合は路床面にて測定する。	
	厚 さ	—25	—8			
	幅	—50	—			

単位mm

工 種	測定項目	規格値		測定基準	測定箇所	摘 要
		個々の測定値(X)	10個の測定値の平均(X_{10})			
薄層カラー舗装工 (下層路盤工) (粒度調整路盤工)	基 準 高 ▽	±40	—	基準高は、延長40m毎に1箇所の割とし、道路中心線及び端部で測定。厚さは、各車線20m毎に1箇所を測定。幅は、延長40m毎に1箇所の割に測定。	厚さは、個々の測定値が10個に9個以上の割合で規格値を満足しなければならないとともに、10個の測定値の平均値(X_{10})について満足しなければならない。ただし、厚さのデータ数が10個未満の場合は測定値の平均値は適用しない。 基準高については、舗装版打換え時は補充材の施工完了面、全層打換え時の下層路盤が無い舗装構造の場合は路床面にて測定する。	
	厚 さ	—45	—15			
	幅	—50	—			

単位mm

改 定' (変更箇所は赤字下線付き及び赤色着色部)

頁番号

単位mm						
工種	測定項目	規格値		測定基準	測定箇所	摘要
		個々の測定値 (X)	10個の測定値の平均 (X10)			
コンクリート舗装工 (転圧コンクリート版工) 上層路盤工	基準高 ▽	±40	-	幅は、延長40m毎に1箇所の割とし、厚さは、各車線20m毎に測定。基準高は延長40m毎に1箇所の割とし、道路中心線及び端部で測定（ただし、舗装版打換え時及び全層打換え時の上層路盤までの舗装構造の場合に適用する）。	厚さは、個々の測定値が10個に9個以上の割合で規格値を満足しなければならないとともに、10個の測定値の平均値（X10）について満足しなければならない。ただし、厚さのデータ数が10個未満の場合は測定値の平均値は適用しない。 基準高については、舗装版打換え時は補充材の施工完了面、全層打換え時の上層路盤までの施工の場合は施工層下面にて測定する。	
	厚さ	-25	-8			
	幅	-50	-			

26

単位mm						
工種	測定項目	規格値		測定基準	測定箇所	摘要
		個々の測定値 (X)	10個の測定値の平均 (X10)			
薄層カラー舗装工 (下層路盤工) (粒度調整路盤工)	基準高 ▽	±40	-	基準高は、延長40m毎に1箇所の割とし、道路中心線及び端部で測定。厚さは、各車線20m毎に1箇所を測定。幅は、延長40m毎に1箇所の割に測定。	厚さは、個々の測定値が10個に9個以上の割合で規格値を満足しなければならないとともに、10個の測定値の平均値 (X10) について満足しなければならない。ただし、厚さのデータ数が10個未満の場合は測定値の平均値は適用しない。 基準高については、舗装版打換え時は補充材の施工完了面、全層打換え時の下層路盤までの施工の場合は施工層下面にて測定する。	
	厚さ	-45	-15			
	幅	-50	-			

27

施工管理基準及び規格値 新旧対比表

現 行						
工 種	測定項目	規格値		測定基準	測定箇所	摘 要
		個々の測定値 (X)	10個の測定値の平均 (X ₁₀)			
薄層カラー舗装工 (上層路盤工)	基 準 高 ▽	±40	—	幅は、延長40m毎に1箇所の割とし、厚さは、各車線20m毎に測定し。(ただし、舗装版打換え時及び全層打換え時の下層路盤が無い舗装構造の場合に適用する)	厚さは、個々の測定値が10個に9個以上の割合で規格値を満足しなければならないとともに、10個の測定値の平均値 (X ₁₀) について満足しなければならない。ただし、厚さのデータ数が10個未満の場合は測定値の平均値は適用しない。 基準高については、舗装版打換え時は補充材の施工完了面、全層打換え時の下層路盤が無い舗装構造の場合は路床面にて測定する。	
	厚 さ	-25	-8			
	幅	-50	—			
工 種	測定項目	規格値		測定基準	測定箇所	摘 要
		個々の測定値 (X)	10個の測定値の平均 (X ₁₀)			
薄層カラー舗装工 (上層路盤工) セメント (石灰) 安定処理工	基 準 高 ▽	±40	—	幅は、延長40m毎に1箇所の割とし、厚さは、1,000㎡に1個の割でコアを採取して測定。(ただし、舗装版打換え時及び全層打換え時の下層路盤が無い舗装構造の場合に適用する)	厚さは、個々の測定値が10個に9個以上の割合で規格値を満足しなければならないとともに、10個の測定値の平均値 (X ₁₀) について満足しなければならない。ただし、厚さのデータ数が10個未満の場合は測定値の平均値は適用しない。 コア採取について 機面舗装等でコア採取により床版等に損傷を与える恐れのある場合は、他の方法によることが出来る。 基準高については、舗装版打換え時は補充材の施工完了面、全層打換え時の下層路盤が無い舗装構造の場合は路床面にて測定する。	
	厚 さ	-25	-8			
	幅	-50	—			

改 定' (変更箇所は赤字下線付き及び赤色着色部)

頁番号

単位mm					
工種	測定項目	規格値		測定基準	測定箇所
		個々の測定値 (X)	10個の測定値の平均 (X10)		
薄層カラー舗装工 (上層路盤工)	基準高 ▽	±40	-	幅は、延長40m毎に1箇所の割とし、厚さは、各車線20m毎に測定。(ただし、舗装版打換え時及び全層打換え時の上層路盤までの舗装構造の場合に適用する)	厚さは、個々の測定値が10個に9個以上の割合で規格値を満足しなければならないとともに、10個の測定値の平均値 (X10) について満足しなければならない。ただし、厚さのデータ数が10個未満の場合は測定値の平均値は適用しない。 基準高については、舗装版打換え時は補充材の施工完了面、全層打換え時の上層路盤までの施工の場合は施工層下面にて測定する。
	厚さ	-25	-8		
	幅	-50	-		

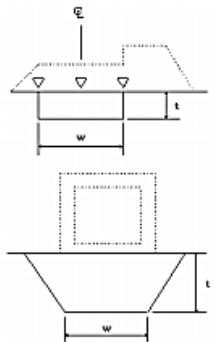
27

単位mm					
工種	測定項目	規格値		測定基準	測定箇所
		個々の測定値 (X)	10個の測定値の平均 (X10)		
薄層カラー舗装工 (上層路盤工) セメント (石灰) 安定処理工	基準高 ▽	±40	-	幅は、延長40m毎に1箇所の割とし、厚さは、1,000m ² に1個の割でコアを採取して測定。(ただし、舗装版打換え時及び全層打換え時の上層路盤までの舗装構造の場合に適用する)	厚さは、個々の測定値が10個に9個以上の割合で規格値を満足しなければならないとともに、10個の測定値の平均値 (X10) について満足しなければならない。ただし、厚さのデータ数が10個未満の場合は測定値の平均値は適用しない。 コア採取について 橋面舗装等でコア採取により床版等に損傷を与える恐れのある場合は、他の方法によることが出来る。 基準高については、舗装版打換え時は補充材の施工完了面、全層打換え時の上層路盤までの施工の場合は施工層下面にて測定する。
	厚さ	-25	-8		
	幅	-50	-		

28

施工管理基準及び規格値 新旧対比表

現 行						
工 種	測定項目	規格値		測定基準	測定箇所	摘 要
		個々の測定値 (X)	10個の測定値の平均 (X ₁₀)			
ブロック舗装工 (上層路盤工)	基 準 高 ▽	±40	－	幅は、延長 40 m 毎に 1 箇所の割とし、厚さは、各車線 20 m 毎に測定。基準高は延長 40 m 毎に 1 箇所の割とし、道路中心線及び端部で測定（ただし、舗装版打換え時及び全層打換え時の下層路盤が無い舗装構造の場合に適用する）。	基準高については、舗装版打換え時は補充材の施工完了面、全層打換え時の下層路盤が無い舗装構造の場合は路床面にて測定する。	
	厚 さ	－25	－8			
	幅	－50	－			

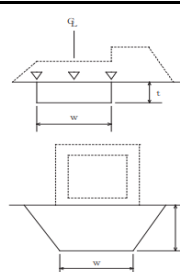
単位mm			単位mm		
工 種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘 要
置換工	基 準 高 ▽	±50	施工延長40m（測点間隔50mの場合は50m）につき1箇所、延長40m（50m）以下のものは1施工箇所につき2箇所。厚さは中心線及び端部で測定。		
	置換厚さ t	－50			
	幅 w	－100			
	延 長 L	－200			

改 定' (変更箇所は赤字下線付き及び赤色着色部)

頁番号

単位mm					
工種	測定項目	規格値		測定基準	測定箇所
		個々の測定値 (X)	10個の測定値の平均 (X10)		
ブロック舗装工 (上層路盤工)	基準高 ▽	±40	ー	幅は、延長40m毎に1箇所の割にとし、厚さは、各車線20m毎に測定。基準高は延長40m毎に1箇所の割とし、道路中心線及び端部で測定。(ただし、舗装版打換え時及び全層打換え時の上層路盤までの舗装構造の場合に適用する)	基準高については、舗装版打換え時は補充材の施工完了面、全層打換え時の上層路盤までの施工の場合は施工層下面にて測定する。
	厚さ	-25	-8		
	幅	-50	ー		

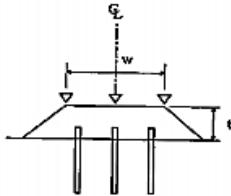
29

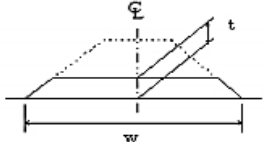
単位mm					
工種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘要
置換工	基準高 ▽	±50	施工延長40m(測点間隔25mの場合は50m)につき1箇所、延長40m(50m)以下のものは1施工箇所につき2箇所。厚さは中心線及び端部で測定。		
	置換厚さ t	-50			
	幅 w	-100			
	延長 L	-200			

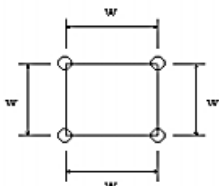
30

施工管理基準及び規格値
 新旧対比表

現 行

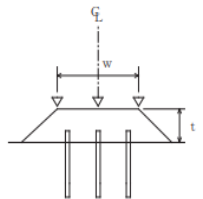
単位mm			単位mm		
工 種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘 要
パイルネット工	基 準 高 ▽	±50	施工延長40m（測点間隔50mの場合は50m）につき1箇所。 厚さは中心線及び両端で掘り起こして測定。 杭については、当該杭の項目に準ずる。		
	置 換 厚 さ t	-50			
	幅 w	-100			
	延 長 L	-200			

単位mm			単位mm		
工 種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘 要
サンドマット工	施 工 厚 さ t	-50	施工延長40m（測点間隔50mの場合は50m）につき1箇所。厚さは中心線及び両端で掘り起こして測定。		
	幅 w	-100			
	延 長 L	-200			

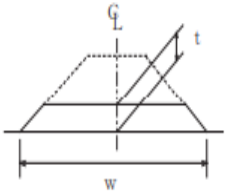
単位mm			単位mm				
工 種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘 要		
固結工 (粉体噴射攪拌工) (高圧噴射攪拌工) (スラリー攪拌工) (生石灰パイル工)	基 準 高 ▽	-50	100本に1箇所。 100本以下は2箇所測定。1箇所に4本測定。				
	位置・間隔 W	D/4以内					
	杭 径 D	設計値以上	全本数。				
	深 度 ℓ	設計値以上					

改 定' (変更箇所は赤字下線付き及び赤色着色部)

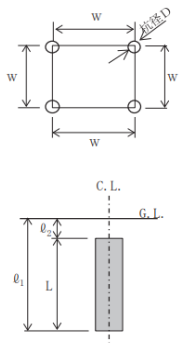
頁番号

単位mm					
工種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘要
パイロット工	基準高 ∇	± 50	施工延長40m(測点間隔 <u>25m</u> の場合は50m)につき1箇所。 厚さは中心線及び両端で掘り起こして測定。 杭については、当該杭の項目に準ずる。		
	<u>厚さ</u> t	-50			
	幅 w	-100			
	延長 L	-200			

30

単位mm					
工種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘要
サンドマット工	施工厚さ t	-50	施工延長40m(測点間隔 <u>25m</u> の場合は50m)につき1箇所。 厚さは中心線及び両端で掘り起こして測定。		
	幅 w	-100			
	延長 L	-200			

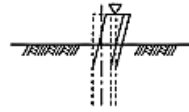
30

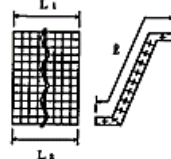
単位mm					
工種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘要
固結工 (粉体噴射攪拌工) (高圧噴射攪拌工) (スラリー攪拌工) (生石灰パイル工)	基準高 ∇	-50	100本に1箇所。 100本以下は2箇所測定。1箇所に4本測定。		
	位置・間隔 w	D/4以内			
	杭径 D	設計値以上			
	深度 L	設計値以上	全本数 <u>$L = \theta_1 - \theta_2$</u> <u>θ_1は改良体先端深度</u> <u>θ_2は改良体天端深度</u>		

31

施工管理基準及び規格値 新旧対比表

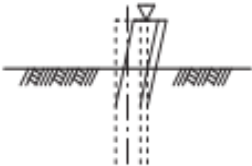
現 行

単位mm			単位mm		
工 種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘 要
土留・仮締切工 (H鋼杭) (鋼矢板)	基 準 高 ▽	±100	基準高は、施工延長40m(測点間隔50mの場合は50m)につき1箇所。延長40m(又は50m)以下のものは、1施工箇所につき2箇所。 (任意仮設は除く)		
	根 入 長	設計値以上			

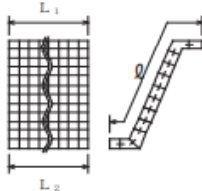
単位mm			単位mm		
工 種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘 要
土留・仮締切工 (連節ブロック張り工)	法 長 ℓ	－100	施工延長40m(測点間隔50mの場合は50m)につき1箇所、延長40m(又は50m)以下のものは1施工箇所につき2箇所。		
	延 長 L 1, L 2	－200	1 施工箇所毎。		

改 定' (変更箇所は赤字下線付き及び赤色着色部)

頁番号

単位mm					
工種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘要
土留・仮締切工 (H鋼杭) (鋼矢板)	基準高 ▽	±100	基準高は、施工延長40m(測点間隔 25m の場合は50m)につき1箇所。延長40m(又は50m)以下のものは、1施工箇所につき2箇所。		
	根入長	設計値以上			

31

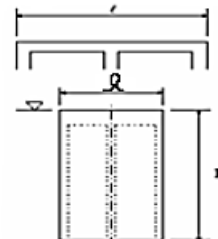
単位mm					
工種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘要
土留・仮締切工 (連節ブロック張り工)	法 長 ℓ	-100	施工延長40m(測点間隔 25m の場合は50m)につき1箇所、延長40m(又は50m)以下のものは1施工箇所につき2箇所。		
	延 長 L_1, L_2	-200	1施工箇所毎。		

31

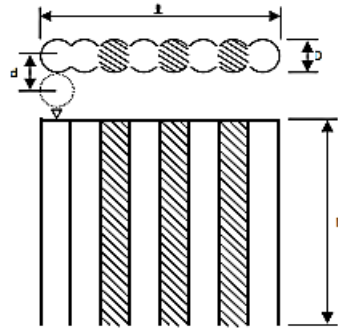
施工管理基準及び規格値
 新旧対比表

現 行

単位mm		
工 種	測定項目	規格値
地中連続壁工 (壁式)	基 準 高 ▽	±50
	連壁の長さ ℓ	−50
	変 位	300
	壁 体 長 L	−200

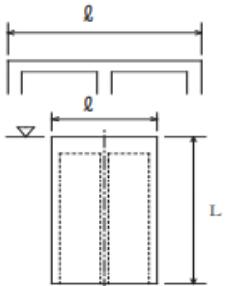
測定基準	測定箇所	摘 要
基準高は施工延長40m(測点間隔50mの場合は50m)につき1箇所。延長40m(又は50m)以下のものについては1施工箇所につき2箇所。 変位は施工延長20m(測点間隔50mの場合は25m)につき1箇所。延長20m(又は25m)以下のものは、1施工箇所につき2箇所。		

単位mm		
工 種	測定項目	規格値
地中連続壁工 (柱列式)	基 準 高 ▽	±50
連壁の長さ ℓ	−50	
変 位 d	D/4以内	
壁 体 長 L	−200	

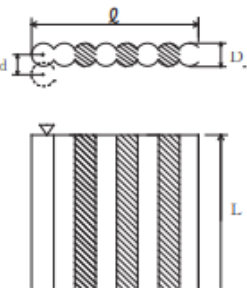
測定基準	測定箇所	摘 要
基準高は施工延長40m(測点間隔50mの場合は50m)につき1箇所。延長40m(又は50m)以下のものについては1施工箇所につき2箇所。 変位は施工延長20m(測点間隔50mの場合は25m)につき1箇所、延長20m(又は25m)以下のものは、1施工箇所につき2箇所。		D：杭径

改 定' (変更箇所は赤字下線付き及び赤色着色部)

頁番号

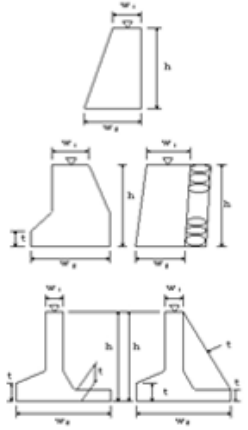
単位mm					
工種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘要
地中連続壁工 (壁式)	基準高 ∇	± 50	基準高は施工延長40m(測点間隔 $\underline{25m}$ の場合は50m)につき1箇所。延長40m(又は50m)以下のものについては1施工箇所につき2箇所。 変位は施工延長20m(測点間隔 $\underline{25m}$ の場合は25m)につき1箇所。延長20m(又は25m)以下のものは、1施工箇所につき2箇所。		
	連壁の長さ l	-50			
	変位	300			
	壁体長 L	-200			

32

単位mm					
工種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘要
地中連続壁工 (柱列式)	基準高 ∇	± 50	基準高は施工延長40m(測点間隔 $\underline{25m}$ の場合は50m)につき1箇所。延長40m(又は50m)以下のものについては1施工箇所につき2箇所。 変位は施工延長20m(測点間隔 $\underline{25m}$ の場合は25m)につき1箇所。延長20m(又は25m)以下のものは、1施工箇所につき2箇所。		
	連壁の長さ l	-50			
	変位 d	$D/4$ 以内			
	壁体長 L	-200			

32

施工管理基準及び規格値 新旧対比表

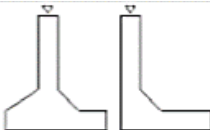
現 行					
単位mm					
工 種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘 要
現場塗装工	塗膜厚	a. ロットの塗膜厚平均値は、目標膜厚合計値の100%以上。 b. 測定値の最小値は、目標塗膜厚合計値の80%以上。	塗装終了時に測定。 1 ロットの大きさは500㎡とする。 1 ロット当たりの測定数は25点とし、各点の測定は5回行い、その平均値をその点の測定値とする。 ※本基準は塗替塗装に適用し、新たに塗装する場合はⅢ-1-3-13工場塗装工の基準を準拠するものとする。		
単位mm					
工 種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘 要
場所打擁壁工	基 準 高 ▽	± 50	施工延長40m(測点間隔50mの場合は50m)につき1箇所、延長40m(又は50m)以下のものは、1施工箇所につき2箇所。		
	厚 さ t	- 20			
	裏 込 厚 さ	- 50			
	幅 w1, w2	- 30			
	高 h	- 50			
	高 h	- 100			
	延 長 L	- 200	1 施工箇所毎		

改 定' (変更箇所は赤字下線付き及び赤色着色部)						頁番号
単位mm						33
工種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘要	
現場塗装工	塗膜厚	<u>a. ロットの塗膜厚平均値は、目標塗膜厚合計値の90%以上。</u> <u>b. 測定値の最小値は、目標塗膜厚合計値の70%以上。</u> <u>c. 測定値の分布の標準偏差は、目標塗膜厚合計値の20%以下。ただし、測定値の平均値が目標塗膜厚合計値より大きい場合はこの限りではない。</u>	塗装終了時に測定。 1ロットの大きさは500㎡とする。 1ロット当たりの測定数は25点とし、各点の測定は5回行い、その平均値をその点の測定値とする。ただし、1ロットの面積が200㎡に満たない場合は10㎡ごとに1点とする。			
単位mm						33
工種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘要	
場所打擁壁工	基準高 ▽	±50	施工延長40m (測点間隔25mの場合は50m) につき 1箇所、延長40m (又は50m) 以下のものは、1 施工箇所につき2箇所。			
	厚さ t	-20				
	裏込厚さ	-50				
	幅 w1, w2	-30				
	高さ h	h < 3m				
		h ≧ 3m	-100			
	延長 L	-200	1 施工箇所毎			

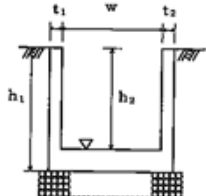
施工管理基準及び規格値 新旧対比表

現 行

現 行

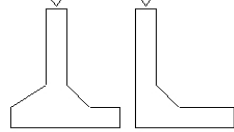
単位mm			単位mm		
工 種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘 要
プレキャスト擁壁工	基 準 高 ▽	±50	施工延長40m(測点間隔50mの場合は50m)につき1箇所、延長40m(又は50m)以下のものは1施工箇所につき2箇所。 1施工1箇所毎。		
	延 長 L	-200			

単位mm			単位mm		
工 種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘 要
側溝工 (プレキャストU型側溝) (L型側溝) (自由勾配側溝) (管渠)	基 準 高 ▽	±30	施工延長40m(測点間隔50mの場合は50m)につき1箇所、延長40m(又は50m)以下のものは、1施工箇所につき2箇所。 1箇所／1施工箇所		
	延 長 L	-200			

単位mm			単位mm		
工 種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘 要
現場打水路工	基 準 高 ▽	±30	施工延長40m(測点間隔50mの場合は50m)につき1箇所、施工延長40m(又は50m)以下のものは1施工箇所につき2箇所。		
	厚 さ t1 t2	-20			
	幅 w	-30			
	高 さ h1 h2	-30			
	延 長 L	-200	1施工箇所毎		

改 定' (変更箇所は赤字下線付き及び赤色着色部)

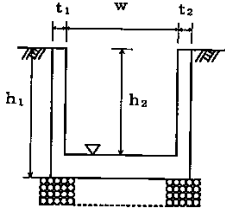
頁番号

単位mm					
工種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘要
プレキャスト擁壁工	基準高 ▽	±50	施工延長40m(測点間隔25mの場合は50m)につき1箇所、延長40m(又は50m)以下のものは1施工箇所につき2箇所。		
	延長 L	-200	1施工1箇所毎。		

33

単位mm					
工種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘要
側溝工 (プレキャストU型側溝) (L型側溝) (自由勾配側溝) (管渠)	基準高 ▽	±30	施工延長40m(測点間隔25mの場合は50m)につき1箇所、延長40m(又は50m)以下のものは、1施工箇所につき2箇所。		
	延長 L	-200	1箇所／1施工箇所		

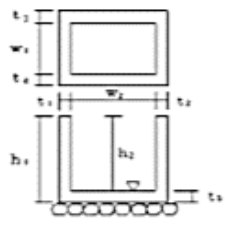
33

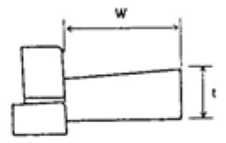
単位mm					
工種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘要
現場打水路工	基準高 ▽	±30	施工延長40m(側点間隔25mの場合は50m)につき1箇所、施工延長40m(又は50m)以下のものは1施工箇所につき2箇所。		
	厚さ t1 t2	-20			
	幅 w	-30			
	高さ h1 h2	-30			
	延長 L	-200	1施工箇所毎		

34

施工管理基準及び規格値
 新旧対比表

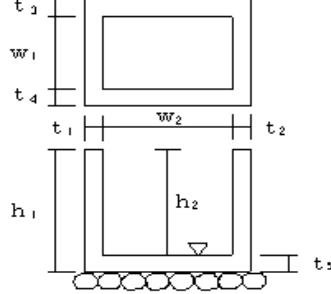
現 行

単位mm			単位mm		
工 種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘 要
街渠柵（集水柵）・マンホール工	基 準 高 ▽	±30	1箇所／施工延長40m ※は現場打部分のある場合		
	※厚 さ t ₁ ～t ₃	-20			
	※幅 w ₁ 、w ₂	-30			
	※高 さ h ₁ 、h ₂	-30			

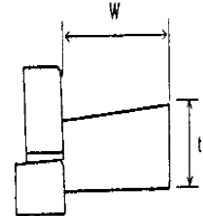
単位mm					
工 種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘 要
街渠工 （街渠コンクリート）	幅 w	-10	施工延長40m（測点間隔50mの場合は50m）につき1箇所、延長40m（又は50m）以下のものは、1施工箇所につき2箇所。コア採取は、200 mにつき1箇所以上。ただし施工延長 200 m未満100 m以上の場合については、1個採取するものとする。また、複数路線の場合は各路線毎に同上の採取頻度とする。		
	厚 さ t	-10			

改 定' (変更箇所は赤字下線付き及び赤色着色部)

頁番号

単位mm					
工種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘要
街渠樹（集水樹）・マンホール工	基準高 ∇	± 30	1 箇所 <u>毎</u> ※は現場打部分のある場合		
	※厚 さ $t_1 \sim t_4$	-20			
	※幅 w_1, w_2	-30			
	※高 さ h_1, h_2	-30			

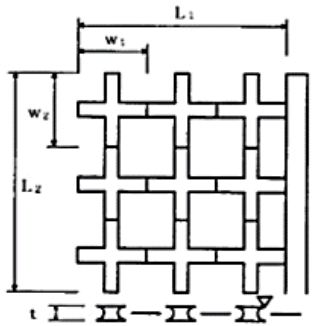
34

単位mm					
工種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘要
街渠工 (街渠コンクリート)	幅 w	-10	施工延長40m (測点間隔 <u>25m</u> の場合は50m)につき1箇所、延長40m (又は50m) 以下のものは、1 施工箇所につき2箇所。 コアー採取は、200mにつき1箇所以上。ただし施工延長200m未満100m以上の場合については、1 個採取するものとする。また、複数路線の場合は各路線毎に同上の採取頻度とする。		
	厚さ t	-10			

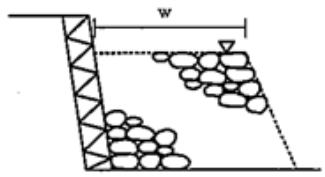
34

施工管理基準及び規格値
 新旧対比表

現 行

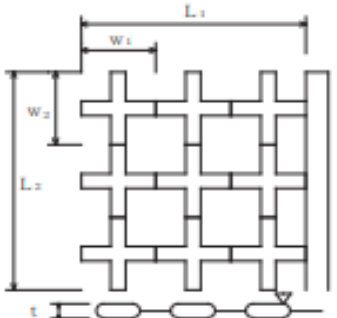
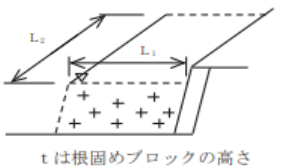
単位mm			単位mm			
工 種	測定項目		規格値	測定基準	測定箇所	摘 要
根固めブロック工	基準高 ▽	層 積	±300	施工延長 40 m（測定間隔 50m の場合は 50 m）につき 1 箇所、延長 40 m（又は 50 m）以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所		
		乱 積	± t / 2			
	厚 さ t		-20	幅、厚さは40個につき 1 箇所測定。		
	幅 n m	層 積	-20			
		乱 積	- t / 2	1 施工箇所毎		
	延長 L1 L2	層 積	-200			
		乱 積	- t / 2			

単位mm

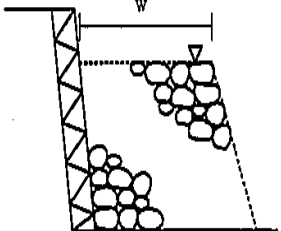
工 種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘 要
捨石工	基 準 高 ▽	-100	施工延長40m(測点間隔50mの場合は50 m)につき 1 箇所、延長40m(又は50m)以下のものは 1 施工箇所につき2箇所。		
	幅 W	-100			
	延 長 L	-200			

単位mm

単位mm

工種	測定項目		規格値	測定基準	測定箇所	摘要
根固めブロック工	層積	基準高 ∇	± 100	施工延長40m（測点間隔25mの場合は50m）につき1箇所、延長40m（又は50m）以下のものは1施工箇所につき2箇所。		
		厚さ t	-20	幅、厚さは40個につき1箇所測定。		
		幅 W1、W2	-20			
		延長 L1、L2	-200			
	乱積	基準高 ∇	$\pm t/2$	施工延長40m（測点間隔25mの場合は50m）につき1箇所、延長40m（又は50m）以下のものは1施工箇所につき2箇所。		
		延長 L1、L2	$\pm t/2$	1施工箇所毎		

35

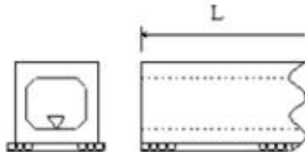
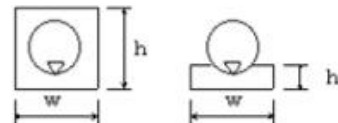
単位mm					
工種	測定項目		規格値	測定基準	測定箇所
捨石工	基準高 ∇		-100	施工延長40m (測点間隔 $\underline{25m}$ の場合は50m) につき1箇所、延長40m (又は50m) 以下のものは1施工箇所につき2箇所。	
	幅 w		-100		
	延長 L		-200		

35

施工管理基準及び規格値 新旧対比表

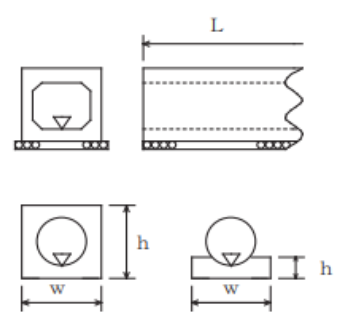
現 行

単位mm

工 種	測定項目	規格値		測定基準	測定箇所	摘 要
		個々の測定値 (X)	10個の測定値の平均(X ₁₀)			
		上限	下限			
プレキャスト カルバート工 (プレキャストボックス工) (プレキャストパイプ工)	基 準 高 ▽	±30		施工延長40mにつき1箇所、施工延長40m以下のものは、1施工箇所につき2箇所。 ※印は、現場打のある場合。		
	※幅 w	-50				
	※高 さ h	-30				
	延 長 L	-200		1施工箇所毎		

改 定' (変更箇所は赤字下線付き及び赤色着色部)

頁番号

改 定' (変更箇所は赤字下線付き及び赤色着色部)						頁番号	
単位mm						37	
工種	測定項目	規格値		測定基準	測定箇所		摘要
		個々の測定値 (X)	10個の測定値の平均 (X10)				
プレキャストカルバート工 (プレキャストボックス工) (プレキャストパイプ工)	基準高 ▽	±30		<u>施工延長40m (測点間隔25mの場合は50m) につき1箇所、施工延長40m (又は50m) 以下のものは1施工箇所につき2箇所。</u> ※印は、現場打部分のある場合。			
	※幅 w	-50					
	※高さ h	-30					
	延長 L	-200		1 施工箇所毎			

37

施工管理基準及び規格値 新旧対比表

現 行

単位mm

工 種	測定項目		規格値	測定基準	測定箇所	摘 要		
鑄造品 (金属支承工)	上・下両面測定 接合用ボルト孔	孔の直径差		+2 -0	製品全数を測定。 ※1 片面削り加工も含む ※2 ただし、ソールプレート接触面の橋軸直角方向の長さ寸法に対してはCT13を適用する。			
		中心距離	センターボスを基準にした孔位置のずれ					
			≦1000mm	≦1				
			センターボスを基準にした孔位置のずれ					
	距離	>1000mm		≦1.5				
		アンカーボルト用孔 (剪取)	孔の直径	≦100mm			+3 -1	
				>100mm			+4 -2	
	孔の中心間距離		JIS B 0403-95 CT13					
	センターボス	ボスの直径		+0 -1				
		ボスの高さ		+1 -0				
	上巻の橋軸及び直角方向の長さ寸法		JIS B 0403-95 CT13					
	全移動量ℓ	ℓ≦300mm		±2				
		ℓ>300mm		±ℓ/100				
	上、下面加工仕上げ		± 3					
	組立高さ(H) コンクリート構造用	H≦300 mm		± 3				
		H>300mm		±(H/200+3) 小数点以下切捨て				
	普通寸法	鑄放し長さ寸法 ※1, ※2		JIS B 0403-95 CT14				
鑄放し肉厚寸法 ※1		JIS B 0403-95 CT15						
削り加工寸法		JIS B 0405-91 粗級						
ガス切断寸法		JIS B 0417-79 B級						

改 定' (変更箇所は赤字下線付き及び赤色着色部)

頁番号

単位mm										
工種	測定項目			規格値		測定基準		測定箇所		摘要
鑄造品 (金属支承工)	上下部鋼構造物との 接合用ボルト孔	孔の直径差		+2 -0		製品全数を測定。 ※1) <u>ガス切断寸法を準用する。</u> ※2) 片面のみの削り加工の場合も含む。 ※3) ソールプレートの接触面の橋軸及び橋軸直角方向の長さ寸法に対してはCT13を適用するものとする。 ※4) <u>全移動量分の遊間が確保されているのかを測定する。</u> ※5) <u>組立後に測定。</u>				
		中心距離	ボスの突起を基準とした孔の位置ずれ							
			≦1000mm	1以下						
			ボスの突起を基準とした孔の位置ずれ							
			>1000mm	1.5以下						
	アンカーボルト（用孔） （鑄放し）	ドリル加工	≦100mm	+3 -1						
			>100mm	+4 -2						
		孔の中心距離※1		JIS B 0403-1995	CT13					
	センターボス	ボスの直径		+0 -1						
		ボスの高さ		+1 -0						
	ボス※5	ボスの直径		+0 -1						
		ボスの高さ		+1 -1						
	上巻の橋軸及び橋軸直角方向の長さ寸法			JIS B 0403-1995 CT13						
	※4 全移動量	ℓ≦300mm		±2						
		ℓ>300mm		±ℓ／100						
	組立高さ H	上、下面加工仕上げ		±3						
		リコネク構造	H≦300mm	±3						
H>300mm			(H/200+3) 小数点以下切り捨て							
普通寸法	鑄放し長さ寸法 ※2)、※3)		JIS B 0403-1995 CT14							
	鑄放し肉厚寸法 ※2)		JIS B 0403-1995 CT15							
	削り加工寸法		JIS B 0405-1991 粗級							
	ガス切断寸法		JIS B 0417-1979 B級							

39

39